

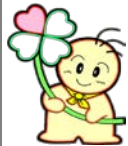
とよなかの市民活動 共同デスク

2012年7月 発行 第4号

とよなかの市民活動・共同デスク実行委員会

(社福) 豊中市社会福祉協議会
(公財) とよなか国際交流協会
(財) とよなか男女共同参画推進財団
(特活) とよなか市民環境会議アジェンダ21
(特活) とよなか市民活動ネットきずな(事務局)
TEL&FAX: 06-6848-8989

豊中市社会福祉協議会



ボランティアフェスティバル

社会福祉協議会は、例年、2月ごろ開催してきた豊中ボランティアフェスティバルですが、今年は、11月18日の開催に向けて、ボランティアフェスティバル実行委員会で検討をすすめています。内容として、豊中在住のラジオパーソナリティー馬場章夫さんの講演会をはじめ、ボランティア団体連絡会のボランティアグループによるステージ発表などが、予定されています。



(写真: ボランティアフェスティバルの様子)

とよなか国際交流協会

「国際交流と人権を考えよう」

昨年度は、9月4日に「国際交流と人権を考えよう 復興支援バザー」を「共同デスク」も、加わって開きました(写真)。今年のイベントは、9月1日、2日に開きます。



共同デスク・コラム

今年の夏のエネルギー問題、原発の再稼働問題には多様な考えがあり、ひとくちに言えませんが、いずれにせよ太陽光や風力に代表される自然エネルギーの普及・拡大には多くの賛同を得られるところかと思えます。

自然エネルギーの設備は以前に比べてかなり価格が下がってきましたが、まだまだ費用回収の難しいケースが多いかもしれません。一方で、費用回収よりも自分の家で使う電気くらいは自給したいという理由で設置される方も増えているそうです。

ちなみに、豊中市は太陽光発電や太陽熱利用設備の補助金制度を行っていることをご存じですか? 昨年は5月からスタートし、9月初めには予定数に達して終了しました。今年も、5月から募集を開始していますので、設置を検討されている方は、こうした制度も活用してみてもいいでしょうか。

個人的には、こうした機会により多くの市民の方に省エネが普及・促進することを願っています。(とよなかアジェンダ21 廣田)

平成24年度の補助金は、予算額に達しましたので募集は終了しました
(豊中市ホームページから)



とよなか男女共同参画推進財団

「とよなか女性防災ノート」に、全国から反響がありました

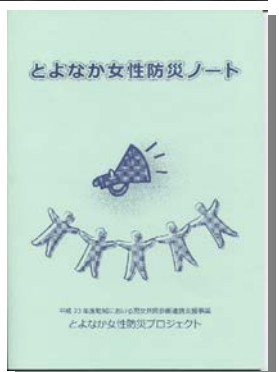
すてっぷでは、内閣府による「平成23年度地域における男女共同参画連携支援事業」により、「とよなか女性防災プロジェクト」運営事業を実施しました。豊中市内の公共団体、公共施設、教育機関、市民団体等と連携し、女性の視点をいかした豊中の防災について3回の検討委員会を開催し、「とよなか女性防災ノート」の作成、「とよなか女性防災キット」を企画しました。

この事業へ全国から問い合わせが寄せられています。地元の豊中市はもちろん大阪府松原市、三重県鳥羽市、愛知県小牧市、静岡県、静岡市などから議員のみなさんが来館され、「女性と防災」について意見交換をしました。今後の災害に備えた「防災における女性の視点の大切さ」を確認し合うとともに、それぞれの地域での取り組みと今後の課題を話し合いました。(写真: 来館された静岡県、静岡市、浜松市、函南町の議員のみなさん)



「とよなか女性防災ノート」は、「男女共同参画白書(平成24年度版)」(内閣府発行)、月刊「We learn」(公益財団法人 日本女性学習財団発行)などでも紹介されています。この取り組みを「女性と防災」を考えるきっかけとして役立てていただければと思います。またすてっぷもこの取り組みを「女性と防災」に取り組む第一段階ととらえ、今後もこれを継続する事業を実施していきたいと思えます。

※「とよなか女性防災ノート」は、すてっぷで配布しています。また「すてっぷHP」からダウンロードできます。



とよなか国際交流協会

外国人のための防災セミナーを開きます



とよなか国際交流協会では、7月27日に地域の外国人と共に防災訓練を実施します。昨年度の東日本大震災を受けて、震災復興支援バザーの開催、地道に現地活動を行っていた認定NPO法人IVYへの協力をしたり、阪神淡路大震災と東日本大震災を重ねて考える人権講演会や、南三陸出身の講師と東北を考える講習会を開催し、年度末には職員が現地視察に出かけるなど被災地への関わりでは、様々な取り組みをおこないました。

今回の防災セミナーは、昨年度の取組みの中で「災害に備えること」の重要性を再認識したことが大きな動機となり、従来施設管理者のみの防災訓練でしたが、対象を広くして行います。

特に、情報などにおいて災害弱者である外国人を中心として防災訓練を実施することにより、地域に暮らす外国人が災害時にどのような困難をかかえるのか知る機会にしたいと考えています。具体的には豊中市消防本部や大阪府国際交流財団との共催で、多言語の通訳付きで避難の方法や消火器の使い方など体験型の講習を行います。



参加者に配布する多言語での防災カード (携帯ケース付)

災害時に役立つ情報が書かれています。中国語、韓国・朝鮮語、インドネシア語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピン語、英語の8言語を用意しています。



とよなか市民活動ネットきずな

「豊中まつり2012」は、8月4日(土)~5日(日)

とよなか市民活動ネットきずなは、今年も豊島公園ゾーンにおいて、8月4日(土)~5日(日)2日間、豊中まつり2012・市民「ふれあい広場」の企画・運営にあたります。広場の実行委員会では、出店(飲食・遊び・ゲーム)、ステージ(市民活動団体による歌・ダンス・演奏、市民活動団体紹介コーナー)など、募集も終えて、本番に向けた準備の取組みがすすんでいます。

ことしから、豊中まつり全体の運営体制が変わりました。これまでは、まつり推進会、実行委員会、運営事務局などに行政も加わった体制でしたが、そのうち運営事務局部分などを市民主体で担っていくこと、NPO法人を設立することになったものです。「豊中まつりを中心に様々な事業を通して多くの『わがまち』を愛する人で構成される『まち』の創造をめざす」という目標をかかげ、3月24日には、くらしかんで、NPO設立イベントが開かれました。きずなはこれまでどおり、広場部会として参加していきます。(写真: 昨年の「ふれあい広場」)



※ この壁新聞は、5つの中間支援団体のとりくみを、分野をこえて情報発信しようと考えた取り組みです。